

サンデン・リテールシステム株式会社
高い保冷技術で、新型コロナウイルス感染症ワクチンの輸送にも活用されている
可動式保冷庫 REVOCOOL レボクールの小型版
「REVOCOOL レボクールⅡ」を発売



今回発売する小型サイズの可動式保冷庫「REVOCOOL レボクールⅡ」

サンデン・リテールシステム株式会社(本社:東京都 代表取締役社長:森益哉、以下サンデンRS)は、本年9月上旬から、高い保冷技術により新型コロナウイルス感染症ワクチンの輸送を含め、多方面で活用されている可動式保冷庫 REVOCOOL レボクールを小型化した「REVOCOOL レボクールⅡ」の販売を開始します。

「REVOCOOL レボクールⅡ」では、サイズを小型化することで医薬品から食品まで幅広い業界において、少量の商品の輸送が可能となり、輸送状況や商品量にあわせた柔軟な活用が期待できます。また「REVOCOOL レボクールⅡ」の開発により、一般的に普及しているカゴ車と呼ばれる運搬用台車(2種類)の小型(W850×D650×H1700)と同じサイズとなり、従来のREVOCOOL レボクールと併せて、流通過程における利便性の向上に大きく寄与することになります。

尚、昨年秋に発売された先行機種である REVOCOOL レボクールは、モデルナ製の新型コロナウイルス感染症ワクチンの輸送に求められる温度条件をクリアし、現在全国各地の接種会場へのワクチン輸送に活用されています。具体的には、搭載された専用蓄冷剤とバッテリーの給電でファンとヒーターを制御することで温度スパイクがなく、庫内温度を均一に保つことができ、通常のトラックで高品質な低温輸送を実現できる点が評価されました。こうした高い温度品質を実現したことにより、温度管理の厳しい医薬品はもちろんのこと、頻度が高く効率の良い輸送への要望が高い食品から外食業界まで、活用領域がますます拡大されたいと考えます。

今回発売する「REVOCOOL レボクールⅡ」も、先行機種である REVOCOOL レボクールと同様に無電源の状態でも庫内の温度を一定に保つ機能があり、冷凍で8時間、冷蔵で6時間の保冷が可能です。従って、冷凍・冷蔵商品を「REVOCOOL レボクールⅡ」内に格納することで、通常のトラックでの輸送が可能となります。

サンデン・リテールシステム株式会社は、これからも人・商品・環境を繋ぐ会社として、消費者・管理者双方の課題解決に取り組み、便利で豊かな生活の実現に向け、新技術やサービスを提供していきます。

<REVOCOOL レボクール II の特長>

1. 無駄のないコンパクトなサイズ設計

カゴ車と呼ばれる運搬用台車のサイズ(2種類)に合わせることで、無駄のない運搬を実現しました。具体的には、大型のカゴ車に対応していた REVOCOOL レボクールに対し「REVOCOOL レボクール II」は小型のカゴ車に対応するよう設計しました。これによりさらに効率の良い運搬が実現します。

2. 冷凍・冷蔵の切り替えが可能 無電源で冷凍8時間、冷蔵6時間の保冷機能を確実に

冷凍と冷蔵の切り替えが可能であり、汎用性の高い電源(单相 100V)を使用し、無電源の状態でも、冷凍で8時間、冷蔵で6時間の保冷時間が確保できます。無電源での保冷時間の確保により、運搬方法だけでなく、積載する商品についても選択の幅が広がります。

3. LED 表示パネルで保冷時間のみえる化を実現

REVOCOOL レボクール同様、視認性に優れた LED 表示により、庫内の温度はもちろんバッテリーの残量および保冷(冷蔵/冷凍)時間を一目で確認ができます。



4. バンパーの色選択可能

バンパーの色を5色から自由に選択ができます。用途(温度別、行先、配送エリア)に合わせて色を変えることで、流通経路での利便性も向上します。



5. 環境にやさしい冷媒を使用

新冷媒 R448A を採用したことにより、地球温暖化係数が従来(当社製品比較)の R404A に比べ約 64%、R410A に比べ約 33%低減。また不燃性冷媒のため搬送上も安全に利用が可能です。

<REVOCOOL レボクール II 製品概要>

型 式 名	CDZ-F086GV(標準モデル)
外形寸法	W886×D686×H1700 ※バンパー含む
内箱寸法	W710×D535×H940
有効容量	350L
製品重量	160Kg
保冷温度	-20℃以下/2~8℃
保冷時間	冷凍 8 時間、冷蔵 6 時間 ※無電源時
蓄冷時間	初期:13 時間前後 繰り返し:9 時間前後
冷 媒	R448A
電 源	1φ100V
電源コード	約 3.0m
キャスター	φ125 ゴムキャスター 前輪ストッパー付
バッテリー	Ni-MH ニッケル水素
別 売 品	仕切り棚、バンパー色変更

※販売時まで、デザイン・仕様が一部変更となる場合があります。

＜会社概要＞

商号	サンデン・リテールシステム株式会社 SANDEN RETAIL SYSTEMS CORPORATION(英文商号)
本社	群馬県伊勢崎市寿町 20
東京本社	東京都墨田区錦糸 1-2-4 アルカウエスト 8F
URL	https://www.sanden-rs.com
サンデン株式会社 (現サンデン・ホールディングス 株式会社)より分社化	平成 27 年(2015 年)4 月 1 日
設立	令和元年(2019 年)7 月 29 日
資本金	5 億円
売上高	646 億 3,800 万円(2019 年度)
代表者	代表取締役社長 森 益哉
従業員数	1,091 名(2019 年度)
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 店舗用ショーケースの製造販売 2. 飲料・食品自動販売機の製造販売 3. 医療機器・用具の製造販売 4. 電気通信機および同部品の製造販売 5. 建築工事および管工事の請負、設計および監理 6. 貨物利用運送事業および倉庫業 7. 古物営業
主要拠点	<p>生産拠点 群馬県前橋市</p> <p>国内拠点 20 拠点 (札幌、仙台、秋田、前橋、宇都宮、新潟、松本、東京、埼玉、名古屋、静岡、金沢、大阪、高松、松山、広島、岡山、福岡、熊本、沖縄)</p> <p>海外拠点 12 拠点 (アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、イタリア、スペイン、中国、韓国、フィリピン、タイ、台湾)</p>
主な関係会社	<p>株式会社エスディ・メンテナンス</p> <p>サンワファブテック株式会社</p> <p>サンデン・ロジスティクス&リユース株式会社</p>